

CS こひつじ科礼拝式次第

2020年9月13日 午前9時30分

2020年度年間テーマ：「神は今も語っておられる。御言葉の恵みに生きよう。」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「わたしが喜ぶのは愛であっていけにえではなく神を知ることであって焼き尽くす献物ものではない。」 ホセア書6章6節

5、かみさまは（こどもさんびかをお用いください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ 創世記3章8～24節

その日、風の吹くころ、主なる神が園の中を歩く音が聞こえてきた。アダムと女が、主なる神の顔を避けて、園の木の間に隠れると、主なる神はアダムを呼ばれた。「どこにいるのか。」彼は答えた。「あなたの足音が園の中に聞こえたので、恐ろしくなり、隠れております。わたしは裸ですから。」神は言われた。「お前が裸であることを誰が告げたのか。取って食べるなど命じた木から食べたのか。」アダムは答えた。「あなたがわたしと共にいるようにしてくださった女が、木から取って与えたので、食べました。」主なる神は女に向かって言われた。「何ということをしたのか。」女は答えた。「蛇がだましたので、食べてしまいました。」主なる神は、蛇に向かって言われた。「このようなことをしたお前はあらゆる家畜、あらゆる野の獣の中で呪われるものとなった。お前は、生涯這いまわり、塵を食らう。お前と女、お前の子孫と女の子孫の間にわたしは敵意を置く。彼はお前の頭を砕きお前は彼のかかとを砕く。」神は女に向かって言われた。「お前のはらみの苦しみを大きなものにする。お前は、苦しんで子を産む。お前は男を求め彼はお前を支配する。」神はアダムに向かって言われた。「お前は女の声に従い取って食べるなど命じた木から食べた。お前のゆえに、土は呪われるものとなった。お前は、生涯食べ物を得ようと苦しむ。お前に対して土は茨とあざみを生えいでさせる野の草を食べようとするお前に。03:19 お前は顔に汗を流してパンを得る土に返るときまで。お前がそこから取られた土に。塵にすぎないお前は塵に返る。」アダムは女をエバ（命）と名付けた。彼女がすべて命あるものの母となったからである。主なる神は、アダムと女に皮の衣を作って着せられた。主なる神は言われた。「人は我々の一人のように、善悪を知る者となった。今は、手を伸ばして命の木からも取って食べ、永遠に生きる者となるおそれがある。」主なる神は、彼をエデンの園から追い出し、彼に、自分がそこから取られた土を耕させることにされた。こうしてアダムを追放し、命の木に至る道を守るために、エデンの園の東にケルビムと、きらめく剣の炎を置かれた。

おはなし 「あなたはどこにいるのか」

門脇献一校長

みなさんおはようございます。先週は、最初の人アダムとエバが神様に罪を犯したお話でした。神様は、土からアダムさんをつくり、命を与えました。また、アダムさんと一緒に生きるエバさんもつくられました。最初の人です。人は、神様に似せてつくられ、神様とともにエデンの園で暮らしておりました。神様は人に自由を与えられました。（自由は、自分のことは自分で決めると言うことで、神さまが創られた素晴らしい世界を神さまと一緒に守るために必要なものです。）だから神様はこういいました。「ここのすべての木から取って食べなさい。」そして、たった一つだけしてはならないことをいいました。「ただし、善悪の知識の木からは、決して食べてはならない。食べると必ず死んでしまう。」でも、二人はその実を食べてしまいました。なぜ食べてしまったのかな？神様は食べてはいけないといったけれど、なんかおいしそうだし、賢くなるって蛇も言ってるし・・・と、神様よりも自分の考えに従ってしまったのです。神様に従わないことが罪です。二人は悲しいことに神さまから与えられた自由でもって罪を犯してしまいました。

さてみなさん、先週の自分のことをよく考えてください。先週の日曜日から今まで、お家で学校や幼稚園で、お父さんやお母さんや兄弟に、お友だちに自分が何をしたのか。これらのことで神様のいましめを守ってきましたか？神様に従うより、自分の思い通りにしてしまう、それが罪です。そして、自分の罪の罰は自分にやってきます。

神様は善悪の知識の木の実を食べると死んでしまうといわれました。アダムさんとエバさんは死にましたか？

そう死んだのです。二人は自分たちが行ったことでうしろめたく神様から隠れようとなりました。そして、自分の行いは自分ではない誰かのせいなのだといひのがれようとなりました。罰を与えられ、神様の前から追い出され、神様とともに生きられなくなりました。死ぬとは命がなくなることですが、人の命は神様が息を吹き込んでくださったものです。神様から離れて人は生きていけないのです。土から抜かれた草花がすぐ枯れてしまうように、神様から離れた人は死んでいるのです。神様のいったとおりでした。

しかし、神様はそれみたことかと放っておかれませんでした。神様は罪を犯したアダムをさっそく「どこにいるのか」と探すお方、アダムの子たちである私たち罪人のために、ご自分の一人子イエス・キリストをさえ犠牲にして、私たちを罪の結果としての死から救い出し、命を与えようとする方なのです。

「罪が支払う報酬は死です。しかし、神の賜物は、わたしたちの主キリスト・イエスによる永遠の命なのです（ローマ 6:23）」

おいのり

世界の創り主、私たちの創り主である神さま、私たちは今でも、神様から与えられた自由を罪を犯すために使ってしまうどうしようもないものですが、あなたがそのような私たちを救い主イエスさまによって救われ、また、神様の所に戻してくださることを感謝します。その感謝をもって神さまを礼拝し、神さまのみ旨をあらわすものとしてください。

* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

(けんきん) 再開後にまとめておささげください

39、かみよ わたしの (こどもさんびかをお用ください)